

品質マネジメントシステムのレビュー報告書

品質管理責任者による情報		作成日：令和 年 月 日	品質管理責任者
No.	情報の項目	品質管理責任者の報告内容 【添付資料】	
1	過去までの指示事項に対してとった処置の状況（フォローアップ）	1) 安全：入場ルールの作成および再発防止教育を実施した。 2) 業務：ショベルローダを操作できる者（車両系建設機械（整地）免許取得者）が6名となった。 3) リスク：配管が凍結する恐れのある箇所は、断熱材を巻いて対処した。	
2	顧客の反応（顧客からのフィードバック）	1) 苦情・クレームなし	
3	品質目標の達成度（定量的評価）	1) 達成状況：ローダとダンプのヒヤリハット接触災害が発生。 下期クレームなし。生コンの品質は安定。 2) 評価：B（接触災害発生による）	
4	製造工程の状況および製品の適合性	1) 不適合品の発生はなかった。	
5	予防処置及び是正処置の状況	1) 予防処置：なし 2) 是正処置：なし 3) リスク管理：①場内での注意事項をラミネート化し運転手に配布した。②場内確認用のカーブミラーを設置した。	
6	監査の結果（顧客及び第三者監査を含む）	1) 品質管理監査および査察：合格 2) 安全パトロール：2件、指導事項に対し対応した。	
7	QMS に影響を及ぼす可能性のある変更	1) 特になし。	
8	資源の妥当性（設備・装置・器具・従業員・運搬車等が品質管理システムを実施し、維持するのに十分であるか否かを検討した結果）	1) 従業員：妥当と言える。JIS 品質管理責任者1名取得（計6名）、土木施工管理技士2級（学科）1名合格、車両系建設機械（整地）免許1名取得（計6名）。コンクリート技士試験1名合格（計4名）。 2) 設備：妥当と言える。ローダの後方（骨材ヤード方向）を確認できるように骨材投入ランプ下部に場内確認用のカーブミラーを設置した。 3) 輸送：妥当と言える。生コン車運転手に対し交通安全教育を実施した。ダンプトラック・セメントローリー車・生コン車の運転手に対して、“相互確認”等の注意事項を記載したラミネート版を配布し注意喚起を行った。 4) 妥当性：品質管理システムが有効と評価できる。	
9	改善のための提案（目標達成のために改善できるところがあるかを評価した結果、従業員の教育・訓練・採用の実施、設備・装置及び器具等の改修又は新設、並びに運搬車の運用等）	1) フレッシュコンクリートの情報（工程・製品・現場試験結果等）を共有化（報告・連絡・相談）した。 2) 従業員教育はほぼ計画通り実施できた。 3) ○○主催の安全大会で、品質に関する講演を行った。 4) 骨材貯蔵ビンの蒸気漏れを修理。骨材受入ターンシュートのライナーを交換。	